

第9回佐賀地方・家庭裁判所委員会（合同開催）議事概要

1 実施日時

平成19年11月27日（火）午後2時～午後5時

2 開催場所

佐賀地方裁判所3階会議室

3 出席者等

(1) 委員（五十音順）

地裁委員会委員

出席者 泉 俊彦（株式会社サガテレビ取締役報道制作局長）
出 田 孝一（佐賀地方裁判所長）
武 野 康代（佐賀地方裁判所唐津支部長）
鶴 幸枝（佐賀市男女共同参画室長）
中 村 健一（佐賀県弁護士会弁護士）
西 村 淳子（佐賀県商工会連合会会員）
藤 川 謙二（佐賀県医師会医師）
宮 崎 和彦（農業(佐賀県生産組合連合協議会代表監事)）
宮 崎 正則（佐賀県立武雄青陵高等学校校長）

家裁委員会委員

出席者 出 田 孝一（佐賀家庭裁判所長）
上 杉 芳久（株式会社佐賀新聞社論説副委員長）
古 賀 靖之（西九州大学健康福祉学部教授）
下 平 豪（佐賀地方検察庁三席検事）
田 中 敬明（佐賀市保健福祉部長）
団 野 克己（佐賀県弁護士会弁護士）
富 安 久美子（主婦（元佐賀県PTA連合会副会長，元母親
委員長））

引 地 富佐子（株式会社ニューリード専務取締役）
福 井 京 子（高木瀬地区民生児童委員協議会会長）
古 川 順 一（佐賀家庭裁判所判事）

(2) 模擬評議裁判官役

裁判長 若 宮 利 信（佐賀地方裁判所刑事部部総括判事）
武 野 康 代（佐賀地方裁判所唐津支部長）
伊 藤 ゆう子（佐賀地方裁判所刑事部裁判官）

(3) 事務担当者

馬場地家裁事務局長，高尾地裁総務課長，川崎家裁総務課長（庶務）

4 議事

(1) 委員長あいさつ（出田委員長）

(2) 新任委員の紹介

(3) 模擬評議について

模擬評議についての概要説明

模擬評議用DVD「スナックハーバーライト」事件上映

模擬評議の実施

地家裁委員19人のうち法曹委員7人を除いた12人の委員からくじ引きで6人を裁判員役として選出し，裁判官役3人と共に評議を行った。

(4) 座談会（意見交換）

（文中， は非法曹委員， は法曹委員の発言である。）

今回は模擬評議であったため，証人等の証言のどちらが信用できるかといった点の判断材料が少ないと感じた。

実際の裁判では，証人が被害者とどの程度仲が良いのかといったバックグラウンドを明確にしてもらわないと，素人では，証言の信憑性を判断するのが難しいと思われる。

証拠と常識に従って判断すれば良いと言われるが，「殺意」や「故意」

等，常識だけでは理解するのは難しい概念があるので，裁判員に対して事前の研修・レクチャーをする必要があるのではないかと感じた。

これまで何回も刑事裁判を傍聴したが，裁判官がどのようなことを考えて判決を出したのか分からないとの印象があった。今日，模擬評議に参加し，陪席裁判官等から分かりやすい説明を受け，判決が出るまでの過程が良く分かった。このように法律的知識のない人に対してかみ砕いて説明することは，結果として刑事事件の被害者及び被告人にとっても良いことではないかと感じた。

一般的なイメージとして，評議では，裁判官が誘導するのではないかといった危惧があったかと思うが，今日の裁判長の司会を見ていただいても分かるように丁寧で強引さはなかったと思われる。実際の裁判員裁判でもこのような形で行われるが，実際の場面でも，裁判員には，何か疑問があったら遠慮せずに議論してもらいたいと思う。

5 次回の予定

(1) 日程

平成20年5月23日(金)午後1時30分

(2) 意見交換テーマ

地裁委員会，家裁委員会合同で，「裁判員制度の課題等」及び「成年後見事件の現状」について意見交換を行う。